

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 三洋化成工業株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 4471 URL <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家永 昌明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員総合事務本部長 (氏名) 本庄 政昭

TEL 075-541-6153

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	26,542	△23.0	857	△12.1	1,037	△7.9	393	△31.9
21年3月期第1四半期	34,492	—	975	—	1,127	—	577	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	3.57	3.30
21年3月期第1四半期	5.24	4.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	131,510	81,288	60.0	715.60
21年3月期	123,901	78,557	61.7	693.00

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 78,956百万円 21年3月期 76,465百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	5.50	13.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		5.50	—	5.50	11.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	54,000	△24.0	1,500	△24.6	1,600	△31.0	700	△41.9	6.34
連結累計期間	108,000	△16.6	2,600	306.0	2,700	442.1	1,200	—	10.88
通期									

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	117,673,760株	21年3月期	117,673,760株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	7,338,820株	21年3月期	7,335,106株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	110,336,986株	21年3月期第1四半期	110,353,675株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年4月30日発表の第2四半期累計期間業績予想を平成21年7月27日付で上方修正しております。(通期業績予想は修正していません。)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページをご参照下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、生産や出荷が持ち直し、昨年の秋以降急速に悪化した景気は最悪期を脱し、底を打ったとみられます。しかしながら、雇用や消費をとりまく環境は依然として厳しく、景気の本格回復に向けた動きは力強さを欠いております。

化学業界におきましても、各国の景気刺激策などにより需要は回復傾向にあるものの、先行きは不透明であり、また一方で、ナフサ価格が再び上昇傾向に転じるなど経営環境は厳しい状況にあります。

当第1四半期の売上高は、265億4千2百万円にとどまり、最悪期であった前四半期(1月～3月)との比較では増収に転じましたが、前年同期比では需要の減少と価格の低下により23.0%減となりました。

利益面では、不況対策を継続し、グループをあげてコストダウンにつとめました。営業利益は8億5千7百万円(前年同期比12.1%減)、経常利益は10億3千7百万円(前年同期比7.9%減)、純利益は、3億9千3百万円(前年同期比31.9%減)となりました。

売上高の主な分野別状況(注)は次のとおりであります。

(注)当社グループの事業内容をより一層ご理解いただけるよう、当連結会計年度より、従来の化学的組成に基づく製品分類から、当社グループ製品が使用される用途に基づく製品分類に変更しております。
なお、分野別売上高の対前年同期比伸び率は、前第1四半期の数値を新分類に組み替え算出したものです。

<生活・健康産業関連>

生活産業関連分野は、低刺激性のヘアケア製品用界面活性剤や、生分解性に優れた洗剤用界面活性剤の売上高が堅調に推移しました。一方、ポリエチレングリコールや工業用界面活性剤は景気後退の影響により、やや低調な売上高となりました。

健康産業関連分野は、高吸水性樹脂が、海外では紙おむつなどの需要増により、売り上げを伸ばしましたが、国内では需要が頭打ちで推移したため売上高は停滞しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は101億2千8百万円(前年同期比8.5%減)となりました。

<機械・輸送機産業関連>

機械・輸送機産業関連分野は、自動車シートなどに使われる新規高機能ポリウレタンフォーム原料の市場浸透がさらに進んだことにより売り上げを伸ばしましたが、自動車内装表皮材ウレタンビーズや汎用ポリウレタンフォーム原料は自動車業界における大幅減産の影響を受け、また自動車用潤滑油添加剤も同様の理由により、売上高が大幅に減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は52億8千万円(前年同期比38.8%減)となりました。

<プラスチック・繊維産業関連>

プラスチック産業関連分野は、電子部品搬送トレイなどに使用される永久帯電防止剤が電子部品業界の景気の落ち込みの影響を受けて、また合成樹脂着色用の顔料分散剤も景気後退の影響により、低調な売上高となりました。

繊維産業関連分野は、自動車用エアバッグ、シートベルト等の産業資材用繊維薬剤やガラス繊維用接着剤が自動車減産の影響により、また炭素繊維用薬剤も需要の停滞により、売上高が大幅に減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は34億9千5百万円(前年同期比24.2%減)となりました。

<情報・電気電子産業関連>

情報産業関連分野は、重合トナー中間体用ポリエステルビーズが新品種の需要の拡大もあり、堅調に推移しましたが、粉砕トナー用バインダーが需要の減少で低迷したことなどにより、低調な売上高となりました。

電気電子産業関連分野は、シリコンウエハ製造用薬剤が海外の需要の急減により、またアルミ電解コンデンサ用電解液も家電業界の不況の影響を受け、売上高が大幅に減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は43億8千4百万円(前年同期比22.6%減)となりました。

<環境・住設関連・その他>

環境関連分野は、カチオン系高分子凝集剤が製紙業界の減産などにより、やや低調な売上高となりました。

住設関連分野は、住宅用断熱材に用いられるポリウレタンフォーム原料や建築シーラント用原料が景気後退の影響により、売上高が大幅に減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は32億5千3百万円(前年同期比28.0%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、短期借入金の増加による現預金の増加ならびに株価上昇に伴う投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて76億8百万円増加し1,315億1千万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて27億3千万円増加し812億8千8百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末から1.7ポイント低下し60.0%となりました。

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末残高と比較し57億8千2百万円増加（前年同期は28億5千4百万円の減少）し、当第1四半期連結会計期間末残高は128億1千3百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、60億6千3百万円（前年同期は2千6百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益10億2千3百万円、減価償却費19億5百万円、仕入債務の増加23億3百万円などにより資金が増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、18億2千5百万円（前年同期は19億7千3百万円の減少）となりました。これは、固定資産の取得に18億6千5百万円を支出したことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、14億3千3百万円（前年同期は8億3千3百万円の減少）となりました。これは、短期借入金の増加26億3千3百万円が、配当金の支払い5億8千4百万円、長期借入金の返済5億8百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の売上高は、ほぼ平成21年4月30日に公表した連結業績予想通りの水準で推移しております。

一方、利益面では、需要が最悪期を脱し、やや回復したことに加え、グループをあげての不況対策やコストダウンの結果、第1四半期の利益は、連結業績予想を上回る水準で推移しておりますことより、第2四半期累計期間業績予想を上方修正致しました。

なお、通期業績予想につきましては、景気の先行きが依然として予断を許さず、特に当社グループの業績に大きな影響を与えるナフサ価格や為替の動向等が不透明であることより、修正しておりません。

上方修正後の第2四半期累計業績予想ならびに平成21年4月30日の決算短信で発表しました第2四半期累計期間業績予想との差異は以下の通りです。

（第2四半期連結累計期間）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	50,000	400	450	0	0.00
今回修正予想（B）	54,000	1,500	1,600	700	6.34
増減額（B－A）	4,000	1,100	1,150	700	—
増減率（%）	8.0	275.0	255.6	—	—
前年同期実績	71,046	1,988	2,318	1,205	10.92

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,829	7,031
受取手形及び売掛金	28,908	29,225
商品及び製品	8,010	7,929
半製品	2,938	3,341
仕掛品	242	207
原材料及び貯蔵品	2,724	2,805
繰延税金資産	1,105	1,086
その他	1,495	1,231
貸倒引当金	△22	△22
流動資産合計	58,232	52,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,182	14,248
機械装置及び運搬具（純額）	21,791	22,195
土地	7,632	7,604
建設仮勘定	5,158	4,760
その他（純額）	1,702	1,804
有形固定資産合計	50,467	50,614
無形固定資産		
ソフトウェア	527	483
のれん	299	342
その他	289	234
無形固定資産合計	1,116	1,060
投資その他の資産		
投資有価証券	19,541	16,458
長期貸付金	8	9
繰延税金資産	1,140	1,917
その他	1,061	1,063
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産	21,693	19,391
固定資産合計	73,278	71,066
資産合計	131,510	123,901

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,843	13,342
短期借入金	6,216	3,339
1年内返済予定の長期借入金	1,010	1,091
未払費用	2,589	1,993
未払法人税等	204	93
賞与引当金	648	1,212
役員賞与引当金	12	41
設備関係支払手形	2,975	3,283
その他	1,872	1,616
流動負債合計	31,372	26,013
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,569	2,946
退職給付引当金	4,567	4,648
役員退職慰労引当金	867	887
その他	844	848
固定負債合計	18,848	19,330
負債合計	50,221	45,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	12,194	12,194
利益剰余金	57,473	57,686
自己株式	△5,677	△5,675
株主資本合計	77,041	77,257
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,886	674
為替換算調整勘定	△972	△1,466
評価・換算差額等合計	1,914	△792
少数株主持分	2,332	2,092
純資産合計	81,288	78,557
負債純資産合計	131,510	123,901

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	34,492	26,542
売上原価	28,794	21,457
売上総利益	5,698	5,084
販売費及び一般管理費	4,722	4,227
営業利益	975	857
営業外収益		
受取利息	22	8
受取配当金	164	137
持分法による投資利益	24	—
不動産賃貸料	89	89
為替差益	—	172
その他	38	25
営業外収益合計	339	433
営業外費用		
支払利息	86	70
持分法による投資損失	—	131
為替差損	52	—
その他	47	49
営業外費用合計	187	252
経常利益	1,127	1,037
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
固定資産除却損	28	24
投資有価証券評価損	108	—
その他	3	—
特別損失合計	140	24
税金等調整前四半期純利益	986	1,023
法人税等	419	382
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△10	247
四半期純利益	577	393

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	986	1,023
減価償却費	1,892	1,905
固定資産除却損	28	24
のれん償却額	52	42
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△980	△563
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△106	△81
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△295	△19
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40	△29
受取利息及び受取配当金	△187	△145
支払利息	86	70
持分法による投資損益 (△は益)	△24	131
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△10
投資有価証券評価損益 (△は益)	108	—
その他の営業外損益 (△は益)	△50	△254
売上債権の増減額 (△は増加)	△637	471
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,299	549
その他の資産の増減額 (△は増加)	△621	△513
仕入債務の増減額 (△は減少)	168	2,303
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16	91
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	75
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,168	980
小計	266	6,052
利息及び配当金の受取額	351	197
利息の支払額	△84	△80
その他	91	61
法人税等の支払額	△599	△167
営業活動によるキャッシュ・フロー	26	6,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△15
固定資産の取得による支出	△1,570	△1,865
固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△98	△2
投資有価証券の売却による収入	—	26
貸付けによる支出	△220	0
貸付金の回収による収入	6	52
その他	△90	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,973	△1,825

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	2,633
短期借入れによる収入	1,567	—
短期借入金の返済による支出	△1,261	—
長期借入金の返済による支出	△252	△508
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△793	△584
少数株主への配当金の支払額	△90	△106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△833	1,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73	111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,854	5,782
現金及び現金同等物の期首残高	11,482	7,031
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	145	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,773	12,813

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社及び連結子会社は、製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種の化学品を専ら製造販売しているので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	30,515	1,277	2,269	430	34,492	—	34,492
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,165	3	64	—	1,233	△1,233	—
計	31,680	1,281	2,334	430	35,726	△1,233	34,492
営業利益又は営業損失(△)	1,116	△130	△35	△25	924	50	975

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	23,592	644	2,080	224	26,542	—	26,542
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	757	—	81	—	839	△839	—
計	24,350	644	2,161	224	27,381	△839	26,542
営業利益又は営業損失(△)	842	△134	226	△60	874	△17	857

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至平成20年6月30日）（単位：百万円）

	アジア	（うち中国）	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	6,341	(3,331)	1,963	2,526	10,831
II 連結売上高	—	—	—	—	34,492
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（％）	18.4	(9.7)	5.7	7.3	31.4

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至平成21年6月30日）（単位：百万円）

	アジア	（うち中国）	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	4,855	(2,758)	1,935	1,755	8,546
II 連結売上高	—	—	—	—	26,542
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（％）	18.3	(10.4)	7.3	6.6	32.2

（注）1．海外売上高は、当社（単体）および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2．国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

3．本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア：韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

(2) アメリカ：米国、メキシコ、ブラジル 他

(3) その他の地域：オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中近東 他

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

四半期ごとの業績推移

1. 連結

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成20年4月～6月)	第2四半期 (平成20年7月～9月)	第3四半期 (平成20年10月～12月)	第4四半期 (平成21年1月～3月)	累計 平成21年3月期
売上高	34,492	36,554	34,014	24,494	129,555
売上総利益	5,698	5,804	4,744	2,425	18,672
営業利益	975	1,013	200	△1,548	640
経常利益	1,127	1,191	213	△2,033	498
四半期(当期)純利益	577	627	△992	△2,613	△2,400

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成21年4月～6月)	伸び率 (%)	
		前年同期(1Q)比	前四半期(4Q)比
売上高	26,542	△23.0	8.4
売上総利益	5,084	△10.8	109.6
営業利益	857	△12.1	—
経常利益	1,037	△7.9	—
四半期(当期)純利益	393	△31.9	—

2. 単体

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成20年4月～6月)	第2四半期 (平成20年7月～9月)	第3四半期 (平成20年10月～12月)	第4四半期 (平成21年1月～3月)	累計 平成21年3月期
売上高	25,747	27,285	23,853	16,141	93,027
売上総利益	4,271	4,681	3,442	1,095	13,490
営業利益	774	1,065	91	△1,862	69
経常利益	1,396	1,458	139	△1,388	1,605
四半期(当期)純利益	899	995	△851	△848	195

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成21年4月～6月)	伸び率 (%)	
		前年同期(1Q)比	前四半期(4Q)比
売上高	18,813	△26.9	16.5
売上総利益	3,492	△18.2	218.7
営業利益	310	△59.9	—
経常利益	732	△47.6	—
四半期(当期)純利益	509	△43.4	—